



はくちょう

vol.2

通信

〔発行者〕
就労サポートセンターはくちょう
平内町大字福館字雷電林1番地50
電話：017(762)7803
FAX：017(755)5602

〔発行日〕
平成29年12月15日〔第2号〕

生産活動（日中活動）のご紹介

開設して八ヶ月が経過し、生産活動などに必要な機材も徐々に整備されるなど、事業所内もようやく「就労系通所事業所」らしくなってきました。
また、利用される方々も徐々に増え、現在十八名が当事業所を利用しています。
今号では、利用者の方々が日々どのような作業をして過ごしているかご紹介いたします。

請負班

請負班では、「施設清掃業務」と「請負業務」を行っており、十七名の利用者が作業に従事しています。
施設清掃業務は八名で構成され、午前は当事業所内の清掃を、午後は近隣の老人福祉施設（デイサービスひまわり、グループホーム陽だまりの家）に向き一般清掃を行っております。
掃除機掛けや水拭きは勿論のこと、近隣福祉施設では浴室清掃やトイレ清掃が加わり技術の向上に努めているところですので、施設を利用されているおじいちゃん、おばあちゃんからの励ましを受けながら頑張っています。



(上段 浴室清掃風景)
(下段 トイレ清掃風景)

利用者向けに提供している昼食の調理補助を行う給食班は、利用者一名が属しています。作業は「食器の洗浄」と「盛付け」を担当、また、食事時の湯茶提供も行いサービス業の基本を学ぶ機会も設定しています。日々、衛生面に留意し、『楽しく昼食を』をモットーに活動しているところです。

給食班



(上段 シール貼り風景)
(下段 ホタテ養殖用カゴ解体風



(調理器具の洗浄風景)

続いて請負業務ですが、業務内容は多岐に亘り、ホタテ養殖で使用する資材の加工として「養殖用ロープへのアゲピン刺し」「養殖カゴの解体（再利用向け）」を始めとし、「牡蠣養殖で使用するホタテ貝の連結加工」「タオル折り加工」「商品パッケージへのシール貼り」「除草作業」などの作業に従事しています。「仕上げは綺麗に」「納期厳守」をモットーに、取引されている方への信頼を第一に取り組んでいます。一部作業は、既に来年度の受注も決定しました。

「土日開所」の実施状況

■「就労サポさつき大運動会」参加

【八月十九日（土）実施】

昨年度末まで大方の利用者が通っていた、就労サポートセンターさつき（平内町茂浦地区）主催の運動会に総勢十三名が参加。「さつき」vs「はくちよう」の事業所対抗戦が実現、徒競走、大玉転がし、綱引き、リレーの四種目で競い合いました。結果は同点で対抗戦の決着は、来年度に持ち越しとなりました。地元の方々の声援や励ましを背に、楽しい一時を過ごしました。



■「わくわく動物園」見学

【九月三日（日）実施】

当初、青森地区障害者就労支援連絡会（アツプルワーク）主催のレクリエーション（ボウリング）に参加する予定でしたが、台風接近により延期となったため、青森市内で開催中の「東北サファリパーク移動動物園」に切り替え、小動物と戯れ、サル劇場で大爆笑、普段体験することができないライオンやトラを間近で観察するなど、参加した十四名全員が動物に癒され

帰宅したところです。（延期となったボウリングは十月二十一日に実施され、心地よい汗を流してきました。）



■お買い物&温泉ツアー

九月二十三日（土）

利用者の自主性や社会経験の向上を目的に、野辺地町内に出掛け、職員の付き添いでホームセンターサンデー、マックスバリュ、一〇円ショップで買い物を楽しみました。

近くのかっぱ寿司で昼食を摂りましたが、各自好物を選べるとあって大好評、利用者から「土日開所は回転寿司」のリクエストをいただきました。



トピックス

■地域交流活動について

去る十月七日（土）、平内町白鳥を守る会（田中聡会長）よりお誘いを受け、今年度二回目となる浅所海岸清掃奉仕活動に参加しました。当事業所から利者及び職員総勢七名が参加、海岸線や橋が繋がる松島のゴミ拾いを行いました。当日は小雨降る中での活動でしたが、会の皆さんと交流でき、有意義な一日を過ごしました。



■産業現場等実習の受け入れ

開設初年度から、左記のように特別支援学校の実習を受け入れました。今後も、生徒さんから“来てよかった”と思われる事業所づくりに努力してまいりますので、生徒さん、保護者の皆さん、見学にお出でください。

【受入状況】 県立七戸養護学校二年（二名）

編集後記

冬の便りが聞かれる時季となりました。生産活動の一環として十月下旬に青森カシスを試験植栽しました。来年の出来を楽しみに、この冬を乗り切っていきたいと思えます。（BBA48）